

第 74 回 全日本医歯薬獣医大学対抗陸上競技選手権大会要項

競技会コード： 1 7 6 9 0 5 0 1

競技場コード： 2 6 1 0 1 0

1. 主 催 全日本医歯薬獣医大学陸上競技連盟、一般財団法人 京都陸上競技協会
2. 主 管 京都陸上競技協会
3. 主 管 校 明治国際医療大学
4. 運営協力 関西学生陸上競技連盟
5. 後 援 京都府、京都府教育委員会、京都市、公益社団法人日本医師会、
公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本薬剤師会、公益社団法人
日本獣医師会、公益社団法人日本鍼灸師会、京都新聞、KBS 京都
6. 協 賛 株式会社ニシスポーツ、大塚製薬株式会社
7. 期 日 平成 2 9 年 8 月 2 3 日（水）～ 2 4 日（木）
8. 会 場 京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場（2 6 1 0 1 0）
〒6 1 5 - 0 8 6 4 京都市右京区西京極新明町 3 2
電話 0 7 5 - 3 1 5 - 4 5 6 1（代）

9. 競技種目 男子 1 9 種目

1 0 0 m 2 0 0 m 4 0 0 m 8 0 0 m 1 5 0 0 m 5 0 0 0 m

1 1 0 mH 4 0 0 mH 3 0 0 0 mSC 4 × 1 0 0 m 4 × 4 0 0 m

走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投

女子 1 8 種目

1 0 0 m 2 0 0 m 4 0 0 m 8 0 0 m 1 5 0 0 m 3 0 0 0 m

1 0 0 mH 4 0 0 mH 4 × 1 0 0 m 4 × 4 0 0 m 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
砲丸投、円盤投 ハンマー投 やり投

但し、上記種目のうち、個人種目については 6 校 8 名以上をもって正式種目とする。また、
リレーについては、6 校以上のエントリーをもって正式種目として対抗得点の対象とする。

10. 出場資格
 - ①平成 2 9 年度日本陸上競技連盟登録者で本連盟加盟の学生に限る。
本連盟加盟の学生とは、医・歯・薬・獣医・看護・保健医療など医療を学ぶ学生とする。
 - ②大学院生はオープン参加とする。
 - ③各学部 OB、OG はオープン参加とする。
 - ②、③についても平成 2 9 年度日本陸上競技連盟登録を行っていること。
（陸連公認大会であるので未登録者は出場できない。）
11. 出場制限
 - ①出場単位は大学、あるいは学部単位のいずれか一方とする。
 - ②各チーム 1 種目 3 名以内とする。
 - ③リレーは各出場単位で 1 チームに限る。
合同チームの参加はオープン参加として認める。
 - ④正選手以外にオープン参加を認める。人数制限はない。
ただし、平成 2 9 年度日本陸上競技連盟登録者であること。
 - ⑤同一競技者の出場種目数制限はない。

12. 競技規則 平成29年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項による。
13. 表彰 ①男女総合3位以内の大学は賞状を授与する。
 ②男女トラックおよびフィールド優勝大学は賞状を授与する。
 ③各種目3位以内の入賞者は賞状とメダルを、4位から8位は賞状を授与する。
 ④成績の優れた男女1名を最優秀選手とし、賞状とメダルを授与する。
14. 注意事項 ①用具は主催者側の用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポール及びやり投用やりは個人所有のものが使用できるが、やりは検査を受け、許可されたものとする。許可されたやりは一括借り上げ、参加競技者全員で使用できるものとし、競技終了後返却する。
 ②ナンバーカードは主催者側が用意したものを使用すること。
 ③対抗得点は1位8点、以下順次1点減、8位1点とする。
 ④最優秀選手の選考は大会新記録を出した者から選出し、該当者がいないときは出場対抗種目における対抗得点の獲得点数の多いものから選出する。ここでいう対抗種目とは、エントリーの時点で正式種目として対抗得点の対象となっているものとする。
 ⑤使用できるスパイクのピンは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。また、スパイクピンの本数は11本以内とする。
 ⑥器具破損の場合は、その選手の所属チームより弁償費用を請求する。
 ⑦各校は1名の補助員を出すこと（2日間とも）。
 ⑧参加者の競技中の発病、負傷に対して主催者側は応急措置以外の責任は負わない。ただし、平成29年度(社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
 ⑨棄権は主将会議にて受け付けたもののみ認める。当日における棄権は原則として認めない。当日やむなく棄権する場合は当該校監督署名押印の上、棄権届けを招集開始前に招集所に提出すること。申し込み受付後の選手の変更は認めないので不足書類など不備のないよう注意すること。
 ⑩主将(代表者)会議を8月22日(火)14:00～16:00に西京極陸上競技場会議室にて実施しますので、必ず出席してください。
15. 参加料 ①連盟費 出場単位（大学または学部） 1つにつき 1,000円
 ②学校分担金 8名以上の出場単位 一律30,000円
 7名以下の出場単位 1名に月4,000円
 ③個人種目 1人1種目 1,000円
 ④リレー 1チーム 2,000円
16. 連絡先 明治国際医療大学 陸上競技部 運営委員長 青山 吉彦
 電話 090-5176-5661

競技注意事項

1. 開閉会式について

- (1) 開会式は第1日目の8月23日(水)午前9時30分よりメイン競技場内にて行うので、午前9時15分までに集合完了のこと。雨天の場合はエントランスホールで行うが、その際は各大学代表者1名を参加させること。
- (2) 閉会式は4×400mRの表彰終了後にメイン競技場内で行う。閉会式も雨天の場合にはエントランスホールで行う。

2. 競技規則について

本大会は、2017年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

3. ウォーミングアップについて

ウォーミングアップは、補助競技場で行うこと。ただし、投てきの練習は、招集完了後、役員の指示により競技場内で行うので、補助競技場での投てき練習は一切行わないこと。

4. 招集について

- (1) 招集所はメインスタンド下の雨天走路に設ける。
- (2) 各競技の招集時刻を下記の通りとし、すべてその競技の開始時刻を基準とする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	50分前	40分前

- (3) 競技者本人がナンバーカード等の確認を受け、他の種目に出場する場合は事前に申し出ること。
- (4) リレーに出場する大学は、招集完了1時間前までに招集所にオーダーを提出すること。ただし、4×400mR予選は前日の16時までに本部へ提出すること。オーダー用紙は日本陸上競技連盟ホームページからダウンロードできるが、前日は本部に、当日は招集所に用意する。
- (5) 欠場する場合は、招集開始時刻までに所定の欠場届を招集所に提出する。欠場届は日本陸上競技連盟ホームページからダウンロードできるが、前日は本部に、当日は招集所に用紙を用意する。なお、招集完了時刻に遅れたものは、欠場とみなす

5. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは主催者側が用意したものを使用すること。
- (2) 男女800m、男女1500m、男子5000m、男子3000mSC、女子3000mと男女4×400mRに出場するチームの第4走者は、各自のレーンナンバーと同じ番号の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、腰部右につけること。競技終了後回収する。
- (3) ナンバーカードは2枚をユニフォームの胸と背のつけること。ただし、跳躍競技は胸又は背につけるだけでよい。

6. 競技について

- (1) 不正スタートについては、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。不正スタートではないが、信号器の発射前に動いた場合は注意を与える。同じ競技者が繰り返しの注意を与えられた場合は、不正スタートとみなし失格させる場合がある。
- (2) 走高跳のバーの上げ方は、下記のように予定する。(ただし、状況により変更することがある。)

種別	練習	1	2	3	4	5	6	以降
男子	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以降優勝者が決まるまで
女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	3cmずつ上げる

男女棒高跳のバーの上げ方は、当日競技者と審判員が協議の上、決定する。

- (3) オープン種目の走幅跳、三段跳、投てき競技の試技数は3回とする。
- (4) 三段跳の踏切板は砂場から男子11m、女子9mに設置する。

7. 競技用具について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。建物内はスパイクで歩かないこと。
- (2) 競技に使用する用具は、すべて主催者側が用意したものを使用すること。ただし、やりについては、個人所有のものを使用することができる。個人使用のやりは、第4ゲート付近の用器具庫にて、競技開始の1時間30分前から1時間前まで検査を行う。検査を受けて許可されたやりは一括借り上げ、参加競技者全員で利用できるものとし、競技終了後返却する。

8. 表彰及び対抗得点について

- (1) 表彰は各種目3位まで行う。該当するものは、競技成績発表（アナウンス）終了後、直ちに表彰者控え席に集合すること。（控え席は正面エントランスホールとする。）雨天の場合には、エントランスホール内で表彰を行う。
- (2) 各種目1位から3位までの入賞者に賞状とメダルを、4位から8位までの入賞者には賞状を授与する。最優秀選手賞（男女各1名）には賞状とメダルを授与する。
- (3) 対抗得点は6校8名以上の参加があった種目についてのみ、1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。
- (4) 総合が同得点の場合、1位種目の多い大学、それでも決まらない場合は2位種目の多い大学、以下3位、4位、5位、6位、7位、8位、4×100mRの成績、4×400mRの成績で決定する。

9. 抗議と上訴について

- (1) 抗議は、競技者自身、あるいはチームを代表する者が、その種目の成績の正式発表（アナウンス）後30分以内に、次のラウンドが行われる競技では15分以内に、審判長に口頭で申し出なければならない。
- (2) 審判長の裁定に不服がある場合、その裁定の30分以内、次のラウンドが行われる競技では15分以内に、預託金10,000円を添えて文書で上訴することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。上訴申立書は、担当総務員が準備する。

10. その他

- (1) 競技中に発生した事故などについては、応急処置は主催者が行うが、以降の責任は負わない。医務員は原則的に本部室に常駐する。
- (2) 横断幕の設置は、第1層のバックスタンド側の第1ゲートから第4ゲート間のサイドスタンドからバックスタンド側の中間の手すり（最前列の手すりは禁止）とする。のぼりや部旗等についても同様とする。
- (3) 観客席は1層目スタンドのみとする。開門は二日間とも7時30分とする。
- (4) 正面スタンドでの集団応援や競技に支障のある応援は禁止する。
- (5) 記録や準決勝、決勝のスタートリストはエントランスホールに掲示する。同時にインターネット速報も行う予定である。